

八幡まるごと館の10年を(1)

●人の集まる場を作ること

2010年6月1周年記念行事



早いものです

春らしくなってきました。八幡まるごと館はオープンから早や10年を迎えようとしています。

「人が集まる場」を目指し試行錯誤ながら、歩んできました。何もない所から、多くの方々にサポートしていただき、今日までやって来ることが出来たのです。関わって下さった多くの方々に感謝申し上げます。この間取り組んできたことを、一区切りとして振り返ってみようと思います。初期の頃の写真を見て、色々なことを思い出していました。何回かに分けて書いていきます。どうかお付き合いください。

まるごと館が生まれる経緯

人と人の関係が希薄になってきている中、行政に頼らず、民間でこの現状を打開しようとする試みが「八幡まるごと館」の立ちあげでした。

2009年10月子どもたちがたくさん



八幡まるごと館だより

2019年4月7日/111号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

2011年秋のまるごと市



2009年10月秋のまるごと市おでんを

館は2009年6月6日にオープンしました。これまで何度も書いてきましたが、これは夫の故上谷耕造の構想でした。それは思いつきではなく、ずっと考えていたことだった、と。その夫は今

2009年10月大きなテントを張って



ることなく、オープンから3年半(2012年12月)で亡くなりました。今来られている多くの方々は館の初期の頃のことをご存知ではないと思います。

まるごと市

初めは閑古鳥が鳴くような日々でした。上谷の支持者の方々は来られましたが、それ以外では全く。

又、まるごと館の器があっても、中味や設備が全くなく、運営費用もままならなかった。それらの状況を突破するために考えられたのがまるごと市でした。

2009年10月に第1回のまるごと市を。前日から、何人も、おで

んの準備をしたのをはっきりと覚えてます。スタッフには上谷の支持者の方々30数人が関わって下さいました。

市の開催でまるごと館の存在を近隣の方々には少しは知っていただけましたし、運営費用も得、その時協力して動けたのは貴重な経験でした。

2010年10月まるごと市準備



以来、まるごと市を毎年春と秋、ずっと続けて来て今年の5月で20回目となります。その間徐々に、必要な備品を揃えることが出来ました。音響道具、デッキ、ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター、餅つき関連道具、テント、等々。でも、まだ完全ではなかった。

野菜販売のこと

開館当時は今のように販売は毎日ではなかったし、生産者の方々も10人ではありませんでした。初めはおひとりから。2011年6月頃になって今のメンバーの方々揃わ



2012年3月3日お雑煮コンサート

れた。それでやっとまるごと館の費用面での運営が安定して可能になりました。毎朝8時30分から9時位には生産者の方々がまるごと館に来られ、朝の会話が始まります。寒い時も暑い時もお世話になって、野菜の棚も作って下さった。感謝しています。

まるごと館便り

パソコンで便りを作り始めたのは2009

年11月です。まるごと館のことを知ってもらうための苦肉の策でした。慣れないパソコンに向かって。初めの頃のものはひどいもので、恥ずかしいくらいです。

そして、非営利であると伝え、生涯学習センターと男山公民館に、少ないですが置いていただいています。初めは予算の都合で表面のみカラー、裏面は1円でモノクロ印刷と、切り詰めていました。編集も素人、と言いつつもも頭100号を超えてしまいました。途中で投げ出さずに続けて来られたのはいつも傍で支えて下さった方々の存在があったから。

2013年7月28日野菜棚



多くの方々が関わって下さって今がある。上谷が元気な頃には支持者の方々に本当にお世話になりました。又、女性支持者グループ「あじさい」では月1回昼食を共に、色々取り組んで、今ほどではないですが、講習会もコンサート等も行っていました。今思えば、現在の土台を作った時期でした。

夫の死後、まるごと館を運営していく上で苦しい気持ちがありましたが、ずっと、まるごと館を気にかけて下さっている方々の存在に勇気をいただき踏み張ることが出来たと思っています。人の気持ちが嬉しくて、それが原動力になるという経験をずっとして来

ていると確信を持って言えます。でも、2012年頃では中味としてまだまだ「人が集まる場」には届かなかった。2013年以降のことは徐々に書いていきます。

2011年10月16日まるごと市



<オカリナひまわり>

<3月にこんなことをしました> 気になります。オカリナの平岡由利子さんやハーモニカの南さんや西岡さんと中々揃わなくてリハーサ



写真が3月6日 ハーモニカとのコフボのコンサートを6月に控えて練習しています。何しろまるごと館では初めてのことなので、参加者数が

<絵手紙講習会>



3月13日 いつも写真を撮っているのですが、今回忘れていました。急きよ参加者の方々が描かれたものを。それぞれの描き方で驚進中、と言った感じが適切な表現かと思うほど、そ

<パッチワーク・サンタさん>

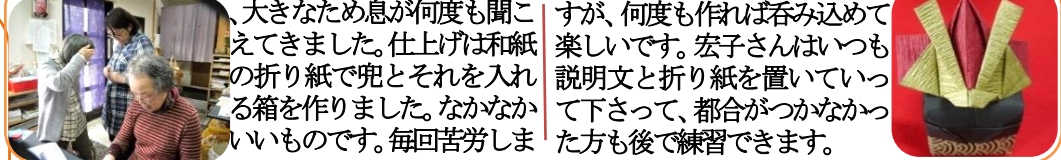
3月14日 サンタさんには早いですが、今から2体のサンタさんを作ります。この日は布を型紙通りに切る作業から。それがまた大変でした。でも、作業の方法を何枚も書いて下さった司馬信子さんはもっと時間をかけて作って下さっています。本当にお世話になりました。

<八幡の歴史11> 3月27日

古代の八幡ということ、出口修さんは奈良の僧行教が宇佐八幡宮からこの男山に遷座した石清水八幡宮のことを詳しく話して下さいました。藤原氏の意向を受けた行教が流氏一族の勢力確保にこの遷座を利用したのだそうです。それは859年のことでしたが、それから3年後の貞観3年『三代実録』で石清水八幡宮は京畿有名社寺で賀茂、松尾、稲荷、平野、梅宮、春日に次ぐ位置に。939年以降常に京畿では第1位に。石清水八幡宮は伊勢神宮につき、国家第2位の宗廟として存在してきた。

<折り紙教室>

3月29日 箱入り兜を作りました。出口宏子さんは毎回大きな折り紙で見本を提示して下さい、参加者はそこから練習していきます。でも中々出来なくて



八幡まるごと館 4月・5月の予定 休館 5月1・2日の午後 3日(金)~7日(火)

<パソコン教室> 基本的には毎週月曜日 10時~12時です 4月1日(月)10時~12時 講師 吉田恒夫さん 8日、15日、22日、29日パソコンを持って来て下さい。参加費用 300円(コーヒーつき)
<オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時に、参加費100円 4月1日(月)13時~ 平岡由利子さんを中心にゆくりと。3日(水)、8日、15日、22日、29日
<歴史と文化を訪ねてN08 橋本を巡る> (少雨決行) 4月6日(土)10時~14時頃 講師 出口修さん 集合橋本駅近くのロータリーに10時に集合 持ち物 昼食(おにぎり程度)、お茶、保険代で30円 参加人数20人とします。詳しくは後日。ご参加お待ちしております。4月の講座はこれに変えます。
<絵手紙講習会> ちょっとゆったりしませんか。 4月10日(水)です。午後1時30分~ 特に持ち物は要りません。講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は5月8日(水)です
<パッチワーク・サンタさん2回目> 1回目の参加者のみです 4月11日(木)13時30分~ 講師 司馬信子さん 持ち物 はさみ、針、パッチワーク糸の白とベージュ
<映画「卒業」上映会> 50年前府立豊学校の実話を映画に 4月18日(木)13時~ 会場費 100円 岡田佳美さんの出演作
<折り紙教室 第5回タペストリー> どうぞお楽しみに。 はまりますよ。 4月24日(水)13時30分~ 講師 出口宏子さん 参加費材料代は100円
<春のまるごと市> 野菜等、他にも色々あります。楽しめる時間が共有できる一日を。 5月19日(日)9時~12時30分 まるごと館と駐車場を使って行います。フリーマーケット11店を募集します。ご希望の方はまるごと館までご連絡下さい。
<楽しい理科の実験N026> 5月24日(金)13時30分~ 講師 木下章司さん 参加費 300円(コーヒーつき)
<歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N012> 5月29日(水)13時30分~ 講師出口修さん 参加費 100円 月1回です

<あんなこと・こんなこと>
* 独り言のような文章になってしまいました。お見苦しいところが多々あると思いますが、お許しください。まるごと館10年の歴史は人と人との関係で作られています。お金や体裁ではなく。次号では2013年からのこと、まるごと館で大切にしていること、講座等について書けたらと思っています。
* まるごと館の昔の写真を出してみると、ついつい当時の思いが溢れて来て見入ってしまいます。本当に多くの方々にお世話になって、このまるごと館が歩んで来られたと、実感しています。ありがとうございました。
* 10年も経てば、人は年を取ります。出来ていたことが出来なくなる。人はどなたでもそういう経験をされている。当たり前なことなのでしょうが、中々納得がいかない。でも、そのことを先に生まれた方々から学び、自分の行く道を考えるのは今すべきことなのでしょう。以前のように体がいうことを聞かなくても、長年のお知恵を、後に続く者は黙して待っています。見えています。そういう関係を築きたいです。まるごと館もあと10年は続けられたらと、勝手に思っています。そのためには筆者は元気でいようと。余り無理をせずに、気長に。野菜生産者の方々、講師の方々、参加者の方々どうぞよろしくお願ひ致します。(うえたに じゅんこ)